

出かけよう。心が動く、5感が動く

[ジェイピーゼロワン]

# JP 1

## HOKKAIDO MAGAZINE JP01

JP01[ジェイピーゼロワン]とは  
国際標準化機構による  
「北海道」の国際的地理コードに  
由来します。  
(ISO 3166-2)

TAKE  
FREE ¥0

2015 Spring vol.7

特集

笑顔、結び合う街

# 札幌

北海道の市町村情報

一村一珍セレクト編

# SAPP RO

季刊  
50,000部発行

【配布場所】道の駅(道内)  
高速道路の主なSA・PA(道内)  
主な観光案内所  
レンタカー営業所  
銀行など

札幌 地域新聞ふりっぱーの  
総合商研が発行する、  
北海道を応援するフリーマガジンです。





北海道生まれの機能性食品を予防医学の観点で提案する  
**わがまちの健康**  
**カウンセラー薬局**

第3回



チエーン系の大手ドラッグストアが林立する現在。特に都市部では数社のドラッグストアがあふれ、今でも新店がぞくぞく開店しているが、地域に密着した健康づくり拠点として、地元民に愛され続ける昔ながらの薬局もまだまだ健在。札幌市北区にある『さの薬局』も、そんな地域密着型の地元薬局のひとつだ。創業は昭和28（1953）年。60年以上に渡って近隣住民の健康を見守り続けている。

「昔は対処療法がほとんどでしたが、最近は健康の維持や予防医学に対する意識の高まりを感じます」と語る、さの薬局代表の佐野弘幸さん。「病気になる体づくりに取り組むことで、心も健康になる」という信条のもと、ホームページの開設やダイレクトメールの送信など、時代のニーズに合わせた対応を心がけ、セミナーや講演会、文化事業への協力などにも積極的。8月には札幌市内で最新のがん治療法をテー

気軽に相談できる**薬局**は、地域の**健康づくり**拠点。

マトとしたセミナーを開催予定だ。

「北大病院が近くにあるので、昔からがんの治療や予防に対する問い合わせは多くありました」と佐野さん。薬局としてできることを模索する中で、「補完代替医療」と呼ばれる健康食品やサプリメントの活用、ヨガやマッサージといった運動療法などを、その人それぞれの症状に合わせて西洋医学の対処療法と組み合わせ、より良い治療を目指す「統合医療」という考え方に合った。特に、がん治療サポートの選択肢のひとつとして国内外の医師たちが臨床研究していたAHCCには「こんな世界があったのか」と驚きを隠せなかったという。取り扱いは始めるとクチコミで情報が広まり、問い合わせが増えた。

「体が楽になる実感があると、治療にも前向きになれますよね」と佐野さんが語ったように、まさに病は気から。気軽に相談できる薬局の存在は、やはり心強い。

さの薬局のおすすめ  
 北海道生まれの機能性食品



**AHCC イムノメディックピュア**  
 担子菌菌糸体を長期培養し原料生産。加齢、生活習慣などによる免疫力低下に。  
 株式会社オフィスセガ ☎0120-70-2688  
<http://www.office-sega.com>

北海道食品機能性表示制度  
 ヘルシーDo(ドゥ)に認定

この製品に含まれるAHCCについては、「健康でいられる体づくりに関する科学的な研究」が行われたことを北海道が認定したものです。(この表示は、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区における国との協議に基づき、北海道内で製造された製品に限り認められたものです。)



北海道認定

DATA

さの薬局

札幌市北区北23条西4丁目2-13  
 TEL.011-756-7788  
 営業時間 / 9:00~21:00  
 定休日 / 日曜  
 詳しくはこちら  
<http://www4.ocn.ne.jp/~sano24/>

さの薬局 札幌